

日曜特別開館 イベント お話会

「^{くすり}薬のいろいろ

～^{くすり}薬の町^{まち}大阪^{おお}道^{さか}修^ど町の^{しょう}歴史^{まち}と^{れき}今^し～^{いま}」

日時：平成30年11月18日(日)

①11:00～12:30 ②14:00～15:30

(お話し、質疑応答、特別展会場での解説含む)

場所：大阪科学技術館 2階 テクノくんのライブラリー

定員：各回40名

参加費：無料

講師：くすりの道修町資料館 館長 深澤 恒夫 氏

*** 事前申し込みは不要です。**



江戸時代に、清やオランダからの輸入薬を扱う問屋が店を出し「薬種中買仲間」が結成されました。日本に入ってくる薬は、大阪の道修町に集まり全国に流通していきました。

現在も道修町には、製薬会社が多くあり、日本初の薬学専門学校(現在の薬科大学に相当)が設置され、少彦名神社は薬の神様として親しまれています。

道修町の歴史や、昔の薬はどのようにして作られていたのかなど、様々な切り口で青少年から大人の方までわかりやすく、そして楽しくお話して下さいます。



特別展 ^{くすり}薬^しを知ろう!

大阪科学技術館 2階 テクノくん広場にて開催中